

第1号様式

(第1面)

事業活動脱炭素化取組計画書

(宛先) 川崎市長

郵便番号 210-0838

住 所 川崎市川崎境町3-3

氏 名 京浜交通株式会社

代表取締役 岩浦 哲彦

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策等の推進に関する条例第10条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	京浜交通株式会社		
主たる事務所又は 事業所の所在地	川崎市 川崎市幸区小倉5-25-20		
該当する事業者の要件 及び温室効果ガスの排 出を行う産業、運輸そ の他の部門	<input type="checkbox"/>	規則第4条第1号該当事業者	部門
	<input type="checkbox"/>	規則第4条第2号該当事業者	部門
	<input checked="" type="checkbox"/>	規則第4条第3号該当事業者	運輸 部門
	<input type="checkbox"/>	規則第4条第4号該当事業者	部門
主たる事業 の業種	大分類	H	運輸業, 郵便業
	中分類	43	道路旅客運送業
主たる事業 の内容	タクシー業		
事業者の規模	<input type="checkbox"/>	原油換算エネルギー使用量	kL
	<input checked="" type="checkbox"/>	自動車の台数	110 台
	<input type="checkbox"/>	エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量	t-CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	
		所在地	
	電話番号		
	FAX番号		
	メールアドレス		
※受付欄		※特記事項	※事業者番号

(第2面)

計 画 期 間	2025 年度 ～ 2027 年度
事業活動に伴う温室効果ガスの排出の量の削減等を図るための基本方針	別添 指針様式のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減等に向けた組織体制	別添 指針様式のとおり
事業活動に伴う温室効果ガスの排出の量及び当該量の削減に係る事項	別添 指針様式のとおり
エネルギーの使用量及び当該量の削減に係る事項	別添 指針様式のとおり
再生可能エネルギー源の利用及び使用するエネルギーの電化に係る事項	別添 指針様式のとおり
自動車の使用に伴う温室効果ガスの排出の量の削減に係る事項	別添 指針様式のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減等に寄与する技術又は製品の開発等に係る事項	別添 指針様式のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式のとおり
備 考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
3 計画書には、事業活動脱炭素化取組指針に定める資料を添付してください。
4 ※印の欄は記入しないでください。

1 事業活動に伴う温室効果ガスの排出の量の削減等を図るための基本方針

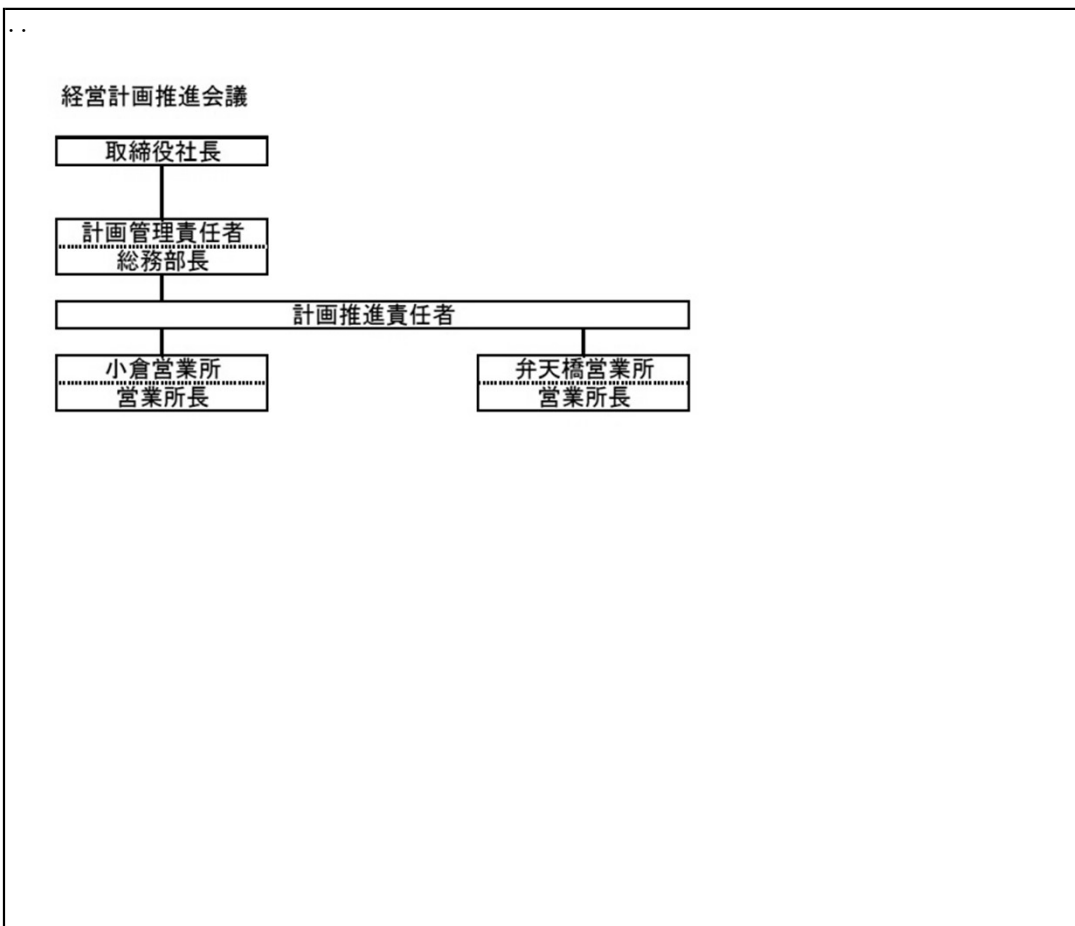
(1) 温室効果ガス排出量の削減等に向けた方針

- ①地球温暖化について、運行管理・整備管理の組織的な協力体制を構築し対策を推進する
- ②エコドライブによる燃料消費量及び温室効果ガス排出の削減を図る
- ③環境負荷を軽減するため、省資源、省エネルギー活動に努める
- ④環境法令遵守に努める

(2) 削減対策実施状況の適切な進行管理（PDC Aサイクル）を行うための方針

- ①温室効果ガスの削減目標に関しては使用燃料の削減効果のあるエコドライブの推進、現行車両から低燃費車両への代替導入などにより燃費の向上・改善を前提条件とし、燃料使用量の削減量を前提としたうえで設定する。
- ②毎週行う全体会議において実績値の報告を行い、同時に必要に応じて協議報告を行う

2 温室効果ガスの排出の量の削減等に向けた組織体制



3 事業活動に伴う温室効果ガスの排出の量及び当該量の削減に係る事項

(1) 計画期間の温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量等

ア 基準排出量と目標排出量((基)は基礎排出量を、(調)は調整後排出量を示す。以下同じ。)

		1、2号該当者		3号該当者		4号該当者	
基準	年度	2024 年度		2024 年度		2024 年度	
目標	年度	2027 年度		2027 年度		2027 年度	
基準	排出量 (t-CO ₂)	(基) (調)		(基) (調)	1,788 1,788	(基) (調)	
目標	排出量 (t-CO ₂)	(基) (調)		(基) (調)	1,600 1,600	(基) (調)	
削減	量 (t-CO ₂)	(基) (調)		(基) (調)	188 188	(基) (調)	
削減	率	(基) (調)	% %	(基) (調)	10.5 10.5	(基) (調)	% %

イ 温室効果ガスの排出の量の実績

		1、2号該当者		3号該当者		4号該当者	
第1年度	(年度)	排出量 (t-CO ₂)	(基) (調)	(基) (調)	(基) (調)	(基) (調)	
		削減量 (t-CO ₂)	(基) (調)	(基) (調)	(基) (調)	(基) (調)	
		削減率	(基) (調)	% %	(基) (調)	% %	(基) (調)
第2年度	(年度)	排出量 (t-CO ₂)	(基) (調)	(基) (調)	(基) (調)	(基) (調)	
		削減量 (t-CO ₂)	(基) (調)	(基) (調)	(基) (調)	(基) (調)	
		削減率	(基) (調)	% %	(基) (調)	% %	(基) (調)
第3年度	(年度)	排出量 (t-CO ₂)	(基) (調)	(基) (調)	(基) (調)	(基) (調)	
		削減量 (t-CO ₂)	(基) (調)	(基) (調)	(基) (調)	(基) (調)	
		削減率	(基) (調)	% %	(基) (調)	% %	(基) (調)

(2) これまでの取組における温室効果ガス排出の量の削減目標等

比較年度	1、2号該当者		3号該当者		4号該当者	
	2013	年度	2022	年度	2013	年度
比較年度排出量 (t-CO ₂)	(基) (調)		(基) (調)	2,248 2,248	(基) (調)	
目標排出量 (t-CO ₂)	(基) (調)		(基) (調)	1,600 1,600	(基) (調)	
削減率(目標)	(基) (調)	% %	(基) (調)	28.8 28.8	(基) (調)	% %
削減率(第1年度)	(基) (調)	% %	(基) (調)	% %	(基) (調)	% %
削減率(第2年度)	(基) (調)	% %	(基) (調)	% %	(基) (調)	% %
削減率(第3年度)	(基) (調)	% %	(基) (調)	% %	(基) (調)	% %

(3) 目標設定に関する説明

高齢化による乗務員の自然減、アイドリングストップの徹底、低燃費車両車両への計画的な代替を中心に目標を15%~20%程度を目標とする

(4) 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況及び措置の状況等

(計画には、計画期間内に実施する温室効果ガスの排出量の削減に向けた措置の内容を事業活動脱炭素化取組指針の別表第1から6等を参考に記載してください。)

計画	1. 低燃費車両への計画的代替 2. 月一度の全体集会にてアイドリングストップを含む運転方法の徹底
第1年度	
第2年度	
第3年度	
計画期間における排出量の増減等についての評価 (第3年度の報告時に記載)	
上記評価を踏まえた改善対策など (第3年度の報告時に記載)	

6 自動車の使用に伴う温室効果ガスの排出の量の削減に係る事項（3号該当者等）

(1) 燃費

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度
燃費 (km/L)	基準年度での燃費対象自動車なし (LPG)				基準年度での燃費対象自動車なし (LPG)

(2) 車両の内訳

ア 車両の種別

種別	台数
普通貨物自動車	0 台
小型貨物自動車	0 台
大型バス	0 台
マイクロバス	0 台
乗用自動車	110 台
特種自動車	0 台

イ 対象自動車の内訳

		基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度
次世代自動車	電気自動車					
	プラグインハイブリッド自動車					
	ハイブリッド自動車					40台
	燃料電池自動車					
	その他					
上記以外		110台				

(3) 乗用車の電気自動車・燃料電池自動車の導入割合

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度
導入割合 (%)					0%

(4) 目標設定に関する説明

<p>毎年2~6台の割合で。三年間で総台数の目標年度までに全車両に対し4割程度まで導入したいのと、全従業員に対しアイドリングストップの徹底を行わせる様に指導を行う予定でおります。</p>

(5) 計画期間の燃費の向上、次世代自動車導入の状況及び措置の状況等

(計画には、計画期間内に実施する燃費の向上、次世代自動車導入等に向けた措置の内容を事業活動脱炭素化取組指針の別表第5及び6等を参考に記載してください。)

計画	現在の保有車両については燃費4km~6km/lであるので、代替によっておおよそ20%程度の燃費の効率化を目指す	
第1年度		
第2年度		
第3年度		
計画期間における燃費の向上、次世代自動車導入等の評価 (第3年度の報告時に記載)		
上記評価を踏まえた改善対策など (第3年度の報告時に記載)		

7 温室効果ガスの排出の量の削減等に寄与する技術又は製品の開発等に係る事項

(1) 全社を含む取組

ア 脱炭素表明・中長期の温室効果ガス削減目標の設定

項目	計画	第1年度	第2年度	第3年度
(ア) 脱炭素に向けた表明の有無				
有無	上記目標等の設定なし			
内容				
(イ) 脱炭素に向けた表明の達成年度の目標				
年度	年度	年度	年度	年度
(ウ) 中間目標				
目標	年度	年度	年度	年度
	%削減 ()年度比	%削減 ()年度比	%削減 ()年度比	%削減 ()年度比

イ 脱炭素化に資するイノベーションの取組

項目	計画	第1年度	第2年度	第3年度
有無	取組実績なし			
内容				

ウ 中長期的な視点での温室効果ガスの排出量の削減目標

項目	計画	第1年度	第2年度	第3年度
有無	無			
内容				

エ 二酸化炭素を排出しない熱エネルギーの導入

項目	計画	第1年度	第2年度	第3年度
有無	導入なし			
内容				

オ SBT等イニシアチブへの加盟・賛同

項目	計画	第1年度	第2年度	第3年度
SBT	該当なし			
RE100	該当なし			
RE Action	該当なし			
TCFD	該当なし			

カ サプライチェーン全体での削減の取組

項目	計画	第1年度	第2年度	第3年度
有無	記載なし			
内容				

(2) 市内事業所の取組

ア 川崎CNブランドの認定の取得

項目	計画	第1年度	第2年度	第3年度
有無	製品・技術等の利用なし			
認証年度				

イ 川崎メカニズム認証制度の認証の取得

項目	計画	第1年度	第2年度	第3年度
有無	取得なし			
認証年度				

備考 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。

8 地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項（3から7までの事項を除く。）
 （各年度において、計画に記載がない措置を実施した場合、実施した内容の最後に（追加実施）と記載してください。）

目標年度までの 計画	特にありません
第1年度	
第2年度	
第3年度	